第178回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成31年1月28日提出）

１．題　目：　動画コンテンツによる予習復習と対面学習を効果的にむすぶ授業について

２．日　時：　平成３０年１２月１７日（月）１６：１０　～　１７：４０

３．場　所：　第５会議室（教育学部２F）

４．主　催：　大学教育イノベーションセンター

５．対　象：　全教職員

６．長崎大学ＦＤに関する申合せ第２第１項への該当について【複数選択可】
（該当するものに○を記入すること）
[　○　]⑴　教員の教育活動に関するもの
[　　]⑵　カリキュラムの改善に関するもの
[　　]⑶　教育の組織的改善に関するもの
[　　]⑷　入学者選抜方法の改善に関するもの
[　　]⑸　その他教育改善及び入学者選抜の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）
講義を動画コンテンツ化することで、学習者自身のペースで予習復習の反復学習が可能となるだけでなく、授業をする教員も基本内容を繰り返し話す必要が無くなり、より多くの授業時間を、理解を深めるための活動や発展的な課題に取組むために使うことができると期待されます。本FDでは学生のアクティブ・ラーニングを促すことを目指して動画コンテンツを活用している学内事例から学び、授業改善に資することを目的とします。
動画コンテンツを効果的に活用した反転授業の学内事例を紹介して、授業設計の工夫のしどころについて学び、その知見を活かして、参加者が実際に担当する授業において、具体的な設計を考えます。

８．プログラム構成［題目・担当講師］（当日使用した資料等を添付すること）
①反転授業の試みについて
講師　奥田阿子　助教（言語教育研究センター）

②動画コンテンツを活用した授業設計について
　講師　北村史　助教（大学教育イノベーションセンター）
③質疑応答

９．参加者：　　７名

（内訳）

所　　属	人　　数
教育学部	1
工学部	4
大学教育イノベーションセンター	2
計	7

※　別紙に参加者名簿を添付してください。

１０．実施したＦＤの成果等
（１） 参加者からの評価（アンケートの集計結果を記述する）
以下のようなコメントがあった。
■授業に使う際のイメージがつかめました
■実際の講義中に動画を利用しておりますが、予習復習での活用も考えてみます
■従来より動画を使用して講義をしていますが、自作する時間が割けず苦労しています。まずは、今ある動画の活用→自作という Story で生かしていきたいと思っています。
■実験系科目は提案内容とマッチしそう。数学理論系科目の事例がほしい。

【アンケート項目の点数（5 件法による）】

項目	平均	SD
運営はスムーズであった	4.43	0.73
今後の授業実践に活かせる内容であった	4.86	0.35
テーマ・内容の設定が適切であった	4.86	0.35
到達目標が達成された	4.57	0.49
全体として満足している	4.71	0.45

（２） 総　括（１０（１）を踏まえＦＤ全体の総括を記述する）
既に動画作成経験のある参加者もそうでない参加者も動画コンテンツを授業の内外でどのように活用できるかについて、いくつかの事例を紹介したことでイメージがつかめたよ

うであった。質疑応答の際には動画視聴後の対面授業でのペアワークの方法についての確認もあり、より具体的に授業と動画コンテンツとの連携について考えていただくことができたと言える。

（文責:大学教育イノベーションセンター・北村史）

１１．実施代表者の連絡先

部　局：　大学教育イノベーションセンター
職　名：　助教　　氏　名：　北村　史
e-mail：　kitamuraf@nagasaki-u.ac.jp　内　線：　2455

１２．申請者の連絡先

部　局：
職　名：　　氏　名：
e-mail：　　内　線：